令和５年度

**「基金協会ホームページ」**から助成金支給申請書等の**｢提出書類(様式)」及び「記載例」**がダウンロードできます。

ホームページＵＲＬ　 http:// group.ja-shizuoka.or.jp/kikin

**（ 農業振興基金協会 ↵ ）**

農業振興基金協会事業

　 記 載 例

提出書類一覧

第13 助成金申請の提出書類

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 申請項目 | 提出書類 | 様　　　　式 | 提出先と部数 | 提出期限 |
| 事前審査  ヒアリング  （５月の日時指定） | 助成金支給  申請書（案） | 様式第1号 | 事前審査会場で２部提出 | 事前審査当日  （５月の日時指定）  ※指定事業は別に定める日 |
| 支出明細書 | 別紙1 |
| 事業主体の規約  (農協は不要) | 任意様式 |
| 全体事業計画書  【希望者のみ】 | 参考様式1 |
| 事業継続理由書  【希望者のみ】 | 参考様式２ |
| 事業主体が備えるべき要件等チェックリスト | 様式第５号 |
| 参考資料 | 任意様式 |
| 事業申請  ６月10日基準日 | 助成金支給申請書 | 様式第1号 | 基金協会へ  １部 | ６月10日基準日  ６月30日〆切  ※指定事業は別に定める日 |
| 支出明細書 | 別紙1 |
| 事業主体の規約  (農協は不要) | 任意様式 |
| 全体事業計画書  【希望者のみ】 | 参考様式1 |
| 事業継続理由書  【希望者のみ】 | 参考様式２ |
| 推薦書  （指定事業、一般事業の県域実施主体は不要） | 様式第1号の２ |
| 事業主体が備えるべき要件等チェックリスト | 様式第５号 |
| 助成金請求  (８月下旬の支給決定通知で指定する日) | 請求書 | 様式第４号 | 基金協会へ  １部 | ８月下旬の指定する日  ※指定事業は別に定める日 |
| 助成金支給日 | ― | ― | ― | 9月上旬  ※指定事業5月下 |
| 該当時 | 事業計画変更（廃止）  承認申請書 | 様式第２号 | 基金協会へ  １部 | 該当時 |
| 事業完了後  ３月10日基準日 | 実績報告書 | 様式第３号 | 基金協会へ  １部 | ３月10日基準日  事業完了日から30日以内又は３月31日のいずれか早い日 |
| 支出明細書 | 別紙1 |
| 成果品（成績書、パンフレット、商品パッケージ等） | 任意様式 |
| 新聞・広報等掲載記事、  事業の写真４枚以上 | 任意様式 |
| 視察・現地調査報告書（実施した場合のみ） | 任意様式 |
| その他活動内容の  わかるもの | 任意様式 |
| 農業振興基金協会・  利用者アンケート | 別紙２ |

※指定事業は別に定める日（実績報告を除く）

様式第1号（用紙　日本産業規格A４縦型）

◆提出基準日6月10日

最終提出〆切６月30日

記載例

※原則として単年度のソフト事業

農業振興基金協会助成金支給申請書

必ず記入

・一般事業は6月30日以前

・指定事業は別に定める日

令和　　　年　　　月　　　日

公益社団法人

　　　静岡県農業振興基金協会 理事長　　様

・構成員は２名以上

・農業者が過半数 又は ＪＡ等

(農業の株式会社も農業者)

　　 (１戸１法人だけでは不可)

　 (※一部事業は学生、市民団体も可)

　　　　　　〒　〇〇〇-〇〇〇〇

所在地　　静岡県〇〇市〇〇12-3

団体名 〇〇〇〇いちご研究会

名称

代表者

役職･氏名　　会長　　　〇〇〇〇

押印

令和 〇年度において、下記のとおり事業を実施したいので、助成金を支給されるよう関係書類を添えて申請します。

記

基金協会の事業名を記載する

１　事　業　名

（１）　別表に記載された事業名　　　（例） 農業生産新技術等導入促進事業

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ア　新商品開発販売研究事業

（２）　申請者が付けた事業名　　　　（例）　〇〇いちご少量パックブランド構築事業

「～事業」と記載

事業内容が一目でわかる名称とする

２　助成金支給申請額　　　　　　　　　　　 ５００，０００　　　円

３　事業実施計画

・4収支予算の助成金額を記入

・千円未満は切り捨て

　 （１） 背景と現状（なぜこの事業が必要とされているのか、現状の問題点、事前の取組みや全体

　　　　　　　　　　　　　計画、継続事業の場合は前年度までの経過について記載 ）

当〇〇管内においては、昭和の中期からいちご栽培が始まり、現在では〇ｈａの栽培が行われ、県内屈指のいちご産地となっている。

近年、いちごについては、全国的に～

　　　　 このような中、現在、〇〇いちごにおいては、〇〇が大きな問題となっており、今まで〇〇などの取り組みを行ってきたが問題解決までには至らなかった。　このため、この問題解決に向け、〇〇への対応を行うことが急務となっている。

　 （２） 事業の目的（事業のねらいについて記載）

　　　　　現在、大きな問題となっている〇〇に対し、基金事業を活用し〇〇を行うことで、いちご販売の〇〇を実現し、いちご生産者の〇〇向上と〇〇の安定を図る。

（３） 事業の内容（目的を達成するための取組みについて箇条書きで具体的に記載）

　①　新たな出荷形態に応じた、多果多収技術の開発への栽培試験を実施。

　② 展示会で、新たな出荷形態候補について消費者にアンケートを実施。

　③ 選抜した新たな出荷形態による、首都圏への試験出荷と課題の抽出。

　④ 先進〇〇県へのいちご流通に関する視察研修の実施。

　➄ マーケティングコンサルタントを交えた、今後の販売戦略の検討。

・(3)と(4)はなるべく対応させる

・(3)をまとめて、(4)への記載も可

（４） 期待される成果（箇条書きで具体的に記載）

　　　　　＊なお、事業終了後に提出する実績報告書の「事業の成果」には、この項目ごとに成果を

　　　　　記載することになる。

1. 多果多収技術として、１品種を選定し、栽植密度、施肥技術を確立する。
2. ４つの新たな出荷形態候補から、消費者ニーズにより1形態を選定する。
3. 首都圏へ試験出荷を10回行い、これらの課題を踏まえ、新たな出荷方法を構築する。
4. 〇〇県の先進的いちご流通技術を1回視察し、低温流通技術の方向性を構築する。

　　➄ マーケティングコンサルの4回の指導を踏まえ、販売戦略構築と報告会を開催する。

基本的に**「目標数値」**を入れて記載すること

※品種登録出願や、特許出願する場合は、事前に基金協会理事長との協議が必要

事業開始日～事業完了日を記載する

「３（3）①～➄事業の内容」を

必ず記載すること

事業は、4月1日から開始可能

（５）　事業実施期間及び実施スケジュール

　　　　　　　　　　　　令和〇年４月１日　～　令和〇年３月31日まで

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年 月 | 実施内容　 注） | 実施場所 |
| 〇年４月 | 基金協会事業推進検討会 | ＪＡ〇〇 |
| ５月 | ＪＡ、県、いちご研究会、市場などとの活動検討会 | ＪＡ〇〇 |
| ５月 | 資材メーカーと新たな出荷形態の検討会 | ㈱〇〇 |
| ６月 | 基金協会申請資料作成と事業申請 | ＪＡ中央会 |
| ６月 | マーケティングコンサルタントとの打合せ会議 | ㈱〇〇コンサル |
| ７月 | マーケティングコンサルタント契約の実施 | ＪＡ〇〇 |
| ７月 | 多果多収技術の試験計画検討会 | 農林技術研究所 |
| ８月 | マーケティングコンサルを交えた販売戦略検討会 | ＪＡ〇〇 |
| ８月 | 資材メーカーからの新たな出荷形態の提案検討会 | ㈱〇〇 |
| ９月 | 多果多収技術の試験開始 | 〇〇農園 |
| 10月 | マーケティングコンサルを交えた販売戦略検討会 | ＪＡ〇〇 |
| 10月 | 〇〇県へのいちご流通視察研修 | 〇〇県 |
| 11月 | 多果多収技術の試験ほ場調査 | 〇〇農園 |
| 11月 | いちご部会での活動中間報告会 | ＪＡ〇〇 |
| 12月 | 展示会での出荷形態の消費者へのアンケート実施  (いちごパッキング機、いちごパッククーラー使用) | 〇〇メッセ |
| 12月 | マーケティングコンサルを交えた販売戦略検討会 | ＪＡ〇〇 |
| 12月 | 多果多収技術の試験ほ場調査 | 〇〇農園 |
| 〇年１月 | 新たな出荷形態での首都圏への試験出荷  (いちごパッキング機、いちごパッククーラー使用) | 〇〇青果市場 |
| ２月 | 試験出荷の課題を踏まえた出荷方法の改善 | 〇〇青果市場 |
| ２月 | 多果多収技術の試験ほ場調査 | 〇〇農園 |
| ３月 | マーケティングコンサルの指導による販売戦略構築 | ＪＡ〇〇 |
| ３月 | いちご研究会での販売戦略報告会 | ＪＡ〇〇 |

　　　　注）　　「３（3）事業の内容」に対応して記載する。

検討会、反省会、報告会等の予定も記載する。

４　収支予算

・「助成金」は千円未満切り捨て

・あらましの事業解説 事業の内容、事業主体、助成額（率）を参照し記載する

・一般事業は１／２助成

　（１）　収入の部

・（助成金額×２）×110％以上とする 【基本】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区　　　　分 | 金　　額　（円） | 備　　　　考 |
| 助　成　金  自己負担金  ― | ５００，０００  ６４６，５００  ※事業による収入は(2)支出の部に△で記載[ここに記載しない]  ・行政（国、県、市町）の補助金等は利用不可  ・ＪＡからの助成金は利用可  ・JAが事業主体の場合JAｸﾞﾙｰﾌﾟ連からの助成金は利用不可 | 農業振興基金協会 |
| 計 | １、１４６，５００ |  |

・ここでは細かく区分しない（4区分以内）

・詳細は(別紙1)支出明細書に記載すること

・区分項目は任意で可

・(別紙1)支出明細書の概要を転記する

　（２）　支出の部

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区 分 | 金　　額　（円） | 備　　　　考 |
| 生産経費  調査研究費  展示会出展費  会議費 | １６８，０００  ４３０，０００  １１０，５００    ８，０００ | ※積算基礎は、(別紙１)支出明細書参照のこと  ・この記載を行う |
| 事業実施に伴う収入 | △５０，０００ |  |
| 小計 | ６６６，５００ | （基金助成額　　　　３００，０００円） |
| 固定資産費  (10万円以上のもの) | ４８０，０００ | いちごパッククーラー |
| 小計 | ４８０，０００ | （基金助成額　　　　２００，０００円）  　　　　　　※基金助成上限　３００，０００円 |
| 合　計 | １，１４６，５００ | （基金助成額合計　５００，０００円） |

（別紙１）

・「支出」の詳細を記載する

・可能な限り見積書を徴取する

記載例

支出明細書

1,146,500

(基金500,000)

480,000

(基金200,000)

△50,000

・試験販売、体験講座の参加費などを△で計上

・会員の食事代は不可

・会員のお茶代は可

・講師の食事代は可

・容器・デザイン・資材はモデル的で先進的なもの

・必要最少人数で

716,500

(基金300,000)

・会員へのほ場賃借料支払は可

説明用メモ（不　要）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　　　　分 | 内　　　容 | 単価、数量等 | 金　額（円） |
| 生産経費 | 種苗費  肥料費  農薬費  小農具費(パッキング機)  ほ場賃借料 | 200円／本×250本  2,000円／袋×10袋  3,000円／本×６本  25,000円／機×2機  30,000円／３ａ | ５０，０００  ２０，０００  １８，０００  5０，０００  ３０，０００ |
| **計** |  | **１６８，０００** |
| 調査研究費 | 視察旅費(〇〇県)  マーケティングコンサル謝礼  試作ﾊﾟｯｸ製作委託費 | 50,000円／人×３人  20,000円／人×５回  183,000円×１式 | １５４，０００  １００，０００  １７６，０００ |
| **計** |  | **４３０，０００** |
| 展示会出展費  （アンケート調査） | 出展料  燃料費  高速代 | 100,000円×１ブース  150円×30L  静岡～横浜町田 | １００，０００  ４，５００  ６，０００ |
| **計** |  | **１１０，５００** |
| 会　議　費 | 印刷費  缶　茶 | プリンターインク×１  ＪＡ缶茶 | ６，０００  ２，０００ |
| **計** |  | **８，０００** |
| 事業実施に伴う収入 | 試験販売での売上 | 250円×200パック | **△ ５０，０００** |
|  | **小　計** |  | **６６６，５００** |
| 固定資産費 | いちごパッククーラー | 480,000円×１台 | **４８０，０００**  (基金助成  上限３0万円) |
| **支　　　　　出　　　　　計**  ・10万円以上が固定資産 (備品)で、所有権は事業主体となる  ・助成金の限度額は30万円が上限（助成額の60％以内）  ・10万円以上のＰＣソフト開発も固定資産  ・モデル的・先進的なもの  ・事業上不可欠で、他に転用できないもの  ・既存施設・機械等の買い替え更新でないこと | | | **１，１46,5００** |

５　事業実施主体

・（助成金額×２）×110％以上とする 【基本】

（１）　団体又はグループの概要

　〇〇いちご研究会は、〇〇管内においていちごを生産する農業者等〇名で組織され、いちご生産に関する研究活動、いちごの販売促進に関する活動、担い手育成活動などに取り組んでいる。

　今回、農業振興基金協会助成事業を活用し、問題となっている〇〇に対する〇〇について取り組みを行うことで、〇〇いちごの〇〇強化と〇〇の安定化を推進する。

事務局が２か所の場合は、２つ記載すること

（２）　事務局

|  |  |
| --- | --- |
| 所在地 | 〒〇〇〇－〇〇〇〇  静岡県〇〇市〇〇345-6 |
| 担当者の所属部署 | ＪＡ〇〇　指導販売課 |
| 担当者職氏名 | 主任　　〇〇〇〇 |
| 連　絡　先 | ＴＥＬ：  携帯： |
| ＦＡＸ： |
| Ｅ-mail： |

　　　　注）　担当者は、問い合わせ等に責任が持てる者とする

６　添付書類

1. 推薦書（様式第１号の２）　　 [県域事業及び指定事業は不要]

（２）　団体・グループ等の規約　　 [農業協同組合、同連合会が事業主体の場合は不要]

（３）　事業主体が備えるべき要件等チェックリスト（様式第５号）　　[指定事業は不要]

ＪＡ、JA連合会が事業主体の場合のみ規約添付不要

組織規約記載例

（任意様式）

〇〇いちご研究会規約（又は会則）

名称、目的、加入・脱退、役員、会計等を規定していること

（名　称）

第1条　　本会は、「〇〇いちご研究会」と称する。

（目　的）

第２条　　本会は、会員相互の連携により、〇〇など各種課題に対し〇〇の取り組みを行うことで、〇〇の向上と〇〇の安定化を図ることを目的とする。

（活動内容）

第３条 本会は、前条の目的を達成するため、次の取り組みを行う。

　１　いちご生産技術の〇〇に関する事項。

　２　いちご流通・販売の〇〇に関する事項。

　３　農業経営の〇〇に関する事項。

　４　関係機関との連携による〇〇の向上に向けた事項。

５　その他、目的を達成するために必要な事項。

（会　員）

第４条　本会の会員は、本会の主旨に賛同し、〇〇地域においていちご生産に取り組む生産者等をもって構成し、加入・脱退は任意とする。

（役　員）

第５条　会長、副会長、監事、会計をおく。

　　　２　役員の任期は２年とし、再任を妨げない。

　　　３　会長は、会を掌握・運営し、会議を招集し議長となる。

（会　計）

第６条　本会の会計年度は 、４月１日から翌年３月31日とする。

（経　費）

第7条　本会の会費は、会員の会費、助成金等及びその他収入をもってあてる。

（事務局）

第８条　本会の事務局は、以下に置く。

　　　　〒〇〇-〇　静岡県〇〇市〇〇12-3　鈴木一郎宅　電話054-284-〇〇〇〇

（付　則）

　　　　１　この規約は、令和〇年４月1日から施行する。

農業者か非農業者かわかるように記載

任意

〇〇いちご研究会　会員名簿（任意様式）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| No | 氏　　名 | 住　　所 | 役職等 | 農業者 |
| 1 | 鈴木一郎 | 〇〇市〇〇12-3 | 会　長 | 〇 |
| 2 | 〇〇〇〇 | 〇〇 | 副会長 | 〇 |
| 3 | 〇〇〇〇 | 〇〇 | 会　計 | 〇 |
| 4 | 〇〇〇〇 | 〇〇 | 監　事 | 〇 |
| 5 | 〇〇〇〇 | 〇〇 |  | ― |
| 6 | 〇〇〇〇 | 〇〇 |  | 〇 |

様式第1号の2（用紙　日本産業規格A４縦型）

・県域で行う事業は推薦書不要

・「指定事業」は推薦書不要

記載例

推　　　薦　　　書

令和　〇年　〇月　〇日

公益社団法人

・農協長､市町長、県農林事務所長、県庁課長､JA連合会(JA経済連等)部長の推薦書とする。

※推薦者と事業主体は同一でないこと

静岡県農業振興基金協会 理事長　様

（推薦者）

所在地

所　属

役職･氏名

押印

公益社団法人静岡県農業振興基金協会の助成金の支給を受けようとする下記の申請者の事業について内容を検討した結果、「事業主体が備えるべき要件」を満たしており、助成金支給対象として適格であると認めたので推薦します。

記

１　申請者

所在地　　　　　　　　　静岡県〇〇市〇〇12-3

団体名　　　　　　　　　〇〇〇いちご研究会

代表者職氏名　　　　 会長　　　〇〇〇〇

２　事　業　名

（１）　別表に記載された事業名　　　（例） 農業生産新技術等導入促進事業

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ア　新商品開発販売研究事業

（２）　申請者が付けた事業名　　　（例）　〇〇いちご少量パックブランド構築事業

３　推薦理由（具体的に書いてください。）

　〇〇いちご研究会は、〇〇管内において、いちご生産技術に関する研究活動、いちごの販売促進に関する活動、担い手育成活動などに積極的に取り組んでいる。

　今回、問題となっている〇〇に対する〇〇についての取り組みを計画しており、本取り組みは、〇〇いちごの〇〇強化と〇〇の安定化に大きく寄与することから、基金協会助成金支給対象として適格である。

様式第5号　（用紙　日本産業規格A４縦型）

記載例

確認に「✔」

「―」を記入

「指定事業」のみチェックリスト不要

事業主体が備えるべき要件等チェックリスト

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※確認に✔、**－**を入れる

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| Ｎo. | 確認事項 | 確認 |
| １ | 申請団体又はグループは、構成員が農業者等で、その目的、意思決定の方法及び加入脱退に関する事項等を定めた規約を有していること(ＪＡ・連合会は不要)。 | **✔** |
| ２ | 事業を実施するための自己負担金等の調達能力が十分にあること。 | **✔** |
| ３ | 国又は地方公共団体の交付金・補助金の支給を受けていないこと。  また、JAの場合は、中央会、県信連、全共連等JAグループからの助成を受けていないこと。 | **✔** |
| ４ | 原則として単年度事業であること。  ただし、事業内容により成果を得るまでに２～３年を要する事業で、2年目以降も助成を希望する場合は、全体計画と各年度の計画を明らかにした書類を初年度に添付していること。  また、当初は1年の計画であったが、所期の目的を達成するために、次年度も助成金を受けて事業の継続を希望する場合は、理由書を添付していること。 | **✔** |
| ５ | 事業内容からみて予算規模及び使途内容が適切であること。 | **✔** |
| ６ | 助成金支給申請額が、助成率及び限度額の範囲内であること。 | **✔** |
| ７ | 助成金の使途が構成員への報酬、人件費、食事代等に充当するものでないこと。　(会議、研修会等の飲物代は可) | **✔** |
| ８ | 事業実施に伴い固定資産(取得価格10万円以上）に該当する施設、什器、備品等を導入する場合は、次の基準をすべて満たしていること。  ・　事業内容がモデル的又は先進的な取組であること。  ・　事業の推進上不可欠で、他に転用できないものであること。  該当しない場合は「**－**」を記入  ・　既存施設設備等の規模拡大又は更新に係るものでないこと。  ・　固定資産導入に係る助成金は、200千円を限度とすること。 | **✔** |
| ９ | 先進地視察、現地調査等を実施する場合は、参加者数が必要最小限であること。 | **✔** |
| １０ | 農業体験、加工体験等を実施する事業にあっては、原則として参加費、材料費等を参加者から徴収していること。（児童・生徒のみを対象とする場合は除外） | **－** |
| １１ | 事業実施に伴い収入(生産物販売、参加料、試作品販売、使用料等)が生ずる場合は、収支予算（支出の部）の「事業実施に伴う収入」欄に金額が記載されていること。 | **✔** |
| １２ | 消費税法に規定する消費税仕入控除税額がある場合には、経費から控除していること。 | **－** |
| １３ | 団体・グループ等の規約を添付していること。(ＪＡ・連合会は不要) | **✔** |
| １４ | 所在地の農業協同組合長、市町長、県農林事務所長、県庁課長のいずれかの「推薦書(様式第1号の2)」を添付していること。　ただし、推薦者は事業主体と同一人でないこと。(県域の団体は不要) | **✔** |

（参考様式１）

・１年では課題解決が困難で、助成事業を２年間又は３年間希望する場合に提出する

・毎年、実績等を改訂し申請する

記載例

全体事業計画書

令和　〇年　〇月　〇日

１　事業実施主体

　（１）　団体名　　　　　　　　　　　〇〇〇〇いちご研究会

助成金支給申請書と同じ年月日

　（２）　代表者役職氏名　　　　　　　　　　会長　　〇〇〇〇

２　事　業　名

（１）　別表に記載された事業名　　　（例） 農業生産新技術等導入促進事業

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ア　新商品開発販売研究事業

（２）　申請者が付けた事業名　　　　（例）　〇〇いちご少量パックブランド構築事業

２年間又は３年間における事業の目的を記載

３　事業の目的

令和〇年度～〇年度の３年間、基金事業を継続的に活用することで、現在、大きな問題となっている〇〇に対し、１年目に〇〇を行い、これを踏まえ２年目には〇〇を実施し、３年目には最終的に〇〇の技術確立を図ることで、いちごの〇〇を実現し、生産者の〇〇向上と〇〇の安定化を目指す。

２年間又は３年間における期待される効果を記載

４　期待される効果

３年間において基金事業を継続的に活用することで、現在、大きな問題となっている〇〇に対し、体系的に〇〇を行うことで、全く新たな〇〇システムが開発され、いちごの〇〇の向上により生産者の〇〇が増加し、〇〇の安定化によるいちご産地の持続的発展が図られる。

事業費を千円単位で記載

５　事業実施期間　　 令和〇年〇月〇日 から 令和〇年〇月〇日まで

６　年度別事業計画の概要

**ｼﾞｬﾝﾌﾟ**

**ｽﾃｯﾌﾟ**

**ホップ**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年　度 | 事業の内容（箇条書き） | 概算事業費  (千円) |
| R〇年度  （初年度） | ・〇〇の実態調査と、消費者へのアンケート調査  ・先進的な〇〇県への〇〇の視察調査  ・〇〇への流通試験 | １，０６０ |
| R〇年度  （2年度） | ・〇〇販売に向けた、新たな小型販売容器の絞り込み  ・商品特性を訴求できるラベルデザインの作成  ・〇〇への試験販売 | １，３１０ |
| R〇年度  （3年度） | ・新たな低温流通の確立・実施  ・〇〇流通システムの構築・稼働  ・実需者及び消費者の評価分析による販売技術の確立 | １，２８０ |

１年計画であったが、何らかの障害等により目的が達成できず、所期の目的を達成するため次年度も継続して事業を希望する場合に提出する

（参考様式２）

記載例

事業継続理由書

令和　〇年　〇月　〇日

助成金支給申請書と同じ年月日

１　事業実施主体

　（１）　団体名　　　　　　　　　　　〇〇〇〇いちご研究会

　（２）　代表者職氏名　　　　　　　　　　　会長　　〇〇〇〇

２　事　業　名

（１）　別表に記載された事業名　　　（例） 農業生産新技術等導入促進事業

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ア　新商品開発販売研究事業

（２）　申請者が付けた事業名　　　　（例）　〇〇いちご少量パックブランド構築事業

３　所期の目的

　　 令和〇年度、基金協会事業により、現在大きな問題となっている〇〇に対し、〇〇を実施し〇〇の技術確立を図ることを目的とし、これにより確実な生産者の〇〇向上と〇〇の安定化を目指すこととしていた。

４　前年度の達成状況

　　 前年度の令和〇年度には、基金協会事業の計画に則し〇〇の取り組みを行い、〇〇の実施までは到達できた。　しかしその後〇月から、いちごの〇〇病が多発し計画的に〇〇が実施できず、最終的に所期の目標を達成することができなかった。

５　継続して実施する必要性

　　 令和〇年度に、〇〇である、所期の目標を達成することができなかったことから、引き続き令和〇年度も基金協会事業を活用し、〇〇への取り組みを計画的に行う。

これにより、所期の目標である〇〇を実現し、確実な生産者の〇〇向上と〇〇の安定化の実現を目指す。

様式第４号　（用紙　日本産業規格A４縦型）

助成金支給決定通知の

助成金額を「円単位」で記入

　※〇〇千円と書かないこと

記載例

請　　　　求　　　　書

金　　５００，０００　円

ただし、令和　〇年　〇月　〇日付け静農振協第〇〇号により助成金の支給の決定を受けた次の事業の助成金として、上記のとおり請求します。

１　助成金支給決定を受けた事業

（１）　別表に記載された事業名　　　（例） 農業生産新技術等導入促進事業

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　ア　新商品開発販売研究事業

（２）　申請者が付けた事業名　　　（例）　〇〇いちご少量パックブランド構築事業

令和　〇年　〇月　〇日

公益社団法人

静岡県農業振興基金協会 理事長　　様

〒〇〇〇-〇〇

所在地　　静岡県〇〇市〇〇12-3

助成金支給申請書と同じ「印」

団体名 〇〇〇〇いちご研究会

・原則として、農協預金口座への振込みとする

振込料：農協→農協は無料

名　 称

代表者

役職･氏名　　会長　　　〇〇〇〇

※原則として、農協預金口座への振込みとする

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 口座振込先  金融機関名 | コード |  | |  |  | |  | | コード | |  | |  | |  | |
| 農協  銀行 | | | | | | | | 本店  支店 | | | | | | | |
| 口座種別 | 普通　･　 当座　　･　 その他（　　　　　　　　　　　　　　） | | | | | | | | | | | | | | | |
| 口座番号 | | |  | | |  | |  | |  | |  | |  | |  | |
| フリガナ |  | | | | | | | | | | | | | | | |
| 口 座 名 |  | | | | | | | | | | | | | | | |

　　　注） 口座種別は該当するものを○で囲んでください。

※　現地確認の場合の適期（必ず記入してください。）

（農業振興基金協会が現地確認をする場合の適切な時期とその理由を記入してください）

|  |  |
| --- | --- |
| 希望時期 | 令和　〇年　〇月　〇日頃 |
| 理由又は行事名 | 事業が概ね完了し、〇日に販売戦略報告会が開催されるため。 |

【まず基金協会に相談すること】

・代表者、事業主体の変更。

・事業費、事業量の20%を超える変更。

・事業費が減額し助成金が1/2を超過

・事業の中止、廃止。

　　の場合に必ず変更承認申請を行う。

記載例

様式第2号（用紙　日本産業規格A４縦型）

事業計画変更（廃止）承認申請書

変更の場合は、~~（廃止）~~と取り消し線を引く

令和　〇年　〇月　〇日

公益社団法人

　　　静岡県農業振興基金協会 理事長　　様

〒　〇〇〇-〇〇〇〇

所在地　　静岡県〇〇市〇〇12-3

助成金支給申請書と同じ「印」

団体名 〇〇〇〇いちご研究会

名称

代表者

・支給決定日と文書番号

を記載

役職･氏名　　会長　　　〇〇〇〇

令和　〇年　〇月　〇日付け、静農振協第〇〇号により助成金の支給の決定を受けた事業の計画を下記のとおり変更したいので承認されるよう申請します。

記

１　事　業　名

（１）　別表に記載された事業名　　　（例） 農業生産新技術等導入促進事業

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ア　新商品開発販売研究事業

（２）　申請者が付けた事業名　　　（例）　〇〇いちご少量パックブランド構築事業

２　計画変更の理由

　　 〇〇への〇〇の取り組みにおいて〇〇が発生し、これに伴い〇〇が実施できず、〇〇が〇〇することで、〇〇が20％以上〇〇したため、計画変更を申請する。

３　変更の内容

【例1】　事業費の変更の場合

|  |  |
| --- | --- |
| 変　　　　　　　更　　　　　　　前 | 変　　　　　　　更　　　　　　　後 |
| ４　収支予算  (1)収入の部  　　　助成金　　　　４７０．０００円  　　　自己負担金　　　　４７１，０００円  　　　　　　計　　　　　　　９４１，０００円  (2)支出の部  　　　生産経費　　 ６３０，０００円  　　　調査研究費　　 ２００，０００円  　　　展示会出展費 　 １１１，０００円  計　　　　　　 ９４１，０００円 | ４　収支予算  (1)収入の部  　　　助成金　　　　　４１５，０００円  　　　自己負担金　　　　　４１６，０００円  　　　　　　計　　　　　　　　８３１，０００円  (2)支出の部  　　　生産経費　 　　６３０，０００円  　　　調査研究費　　　 １００，０００円  展示会出展費　 １０１，０００円  計　　　　　　 　　８３１，０００円  ※助成金差額５５，０００円を返還する。 |

【例２】　代表者の変更の場合

|  |  |
| --- | --- |
| 変　　　　　　　更　　　　　　　前 | 変　　　　　　　更　　　　　　　後 |
| 〒〇〇〇-〇〇〇〇  所在地： 静岡県〇〇町〇〇12-3  団体名： 〇〇いちご研究会  代表者： 会長　鈴木 一郎  連絡先：　０５４－２８４－〇〇〇〇 | 〒〇〇〇-〇〇〇〇  所在地： 静岡県〇〇市〇〇567-8  団体名： 〇〇いちご研究会  代表者： 会長　本田 太郎  連絡先：　０５４－１２０－〇〇〇〇 |

【例３】　事業廃止の場合

|  |  |
| --- | --- |
| 変　　　　　　　更　　　　　　　前 | 変　　　　　　　更　　　　　　　後 |
| （１）別表に記載された事業名  　農業生産新技術等導入促進事業  　　　　ア　新商品開発販売研究事業  （２）申請者が付けた事業名  　　　いちご少量パックブランド構築事業  （３）事業の内容  ①多果多収の栽培試験実施  ②展示会での消費者アンケート  ③首都圏への試験出荷と課題の抽出  ④先進〇〇県への視察研修  ➄マーケティングコンサルとの検討 | ・全ての事業を廃止 |

・「事業廃止」の場合は、申請時の収支予算書を添付する

・この表題をつける

　　　　　　　　　　　　　　【全事業を廃止、助成金全額返還】

４　収支予算

　（１）　収入の部

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区　　　　分 | 予　　算　　額　（円） | 備　　　　考 （積算基礎） |
| 助　成　金  自己負担金  その他収入 | ５００，０００  ６４６，５００ | 農業振興基金協会 |
| 計 | １、１４６，５００ |  |

（２）　支出の部

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区 分 | 金　　額　（円） | 備　　　　考 （積算基礎） |
| 生産経費  調査研究費  展示会出展費 | １６８，０００  ４３３，０００  １１５，５００ | ※積算基礎は、(別紙１)支出明細書参照のこと |
| 事業実施に伴う収入 | △５０，０００ |  |
| 小計 | ６６６，５００ | （基金助成額　３００，０００円） |
| 固定資産費 | ４８０，０００ | いちごパッククーラー |
| 小計 | ４８０，０００ | （基金助成額　　　　２００，０００円）  ※基金助成上限　３００，０００円 |
| 合　計 | １，１４６，５００ | （基金助成額合計　５００，０００円） |

様式第3号　（用紙　日本産業規格A４縦型）

**◆提出基準日：３月10日**

・事業完了日から30日又、3月31日のいずれか早い日までに提出。

記載例

実績報告書

※様式は、「農業振興基金協会 **↲** 」からダウンロード可

http://group.ja-shizuoka.or.jp/kikin

令和　〇年　〇月　〇日

公益社団法人

　　　静岡県農業振興基金協会 理事長　　様

〒　〇〇〇-〇〇〇〇

所在地　　静岡県〇〇市〇〇12-3

助成金支給申請書と同じ「印」

団体名 〇〇〇〇いちご研究会

名称

代表者

助成金支給決定通知の日付け、文書番号を記載

役職･氏名　　会長　　　〇〇〇〇

令和〇年〇月〇日付け、農振協第〇〇号により助成金の支給の決定を受けた、

下記の事業が完了したので、関係書類を添えて報告します。

記

※変更承認申請をした場合は、「令和〇年〇月〇日付け、農振協第〇〇号により計画変更承認を受けた」を追加記入する

１　事　業　名

（１）　別表に記載された事業名　　　（例） 農業生産新技術等導入促進事業

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　ア　新商品開発販売研究事業

（２）　申請者が付けた事業名　　　　（例）　〇〇いちご少量パックブランド構築事業

助成金額（申請時の決定額）

２　助成金支給申請額　　　　　　　 　　　　　 ５００，０００　　　円

実績報告書の助成金の決算額

３　助成金決算額　　　　　　　　　　　　　　　１，１４６，５００　　　円

実績報告書の決算額 計

４　事　業　費　　　　　　　　　　　　　　 　　　１，１４６，５００　　　円

５　事業完了年月日　　　　　　　　　　 　　　令和　〇年　〇月　〇日

次ページ６(1)上段の年月日と、表下段の年月日を統一して記入する（３か所の年月日を統一して記載すること）

６　事業実施報告

前ページと表下段の完了年月日を統一して記載

実績は月日で記載

申請書の3(5)「事業実施期間及び実施スケジュール」を改訂し作成する

1. 事業の実施状況（具体的に記載）

令和　〇年　〇月　〇日　～　令和　〇年　〇月　〇日まで

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 月 日 | 実施内容 | 実施場所 |
| ４月５日 | 基金協会事業推進検討会 | ＪＡ〇〇 |
| ５月８日 | ＪＡ、県、いちご部会、市場などとの活動検討会 | ＪＡ〇〇 |
| ５月１７日 | 資材メーカーと新たな出荷形態の検討会 | ㈱〇〇 |
| ６月３日 | 基金協会申請資料作成と事業申請 | ＪＡ中央会 |
| ６月１６日 | マーケティングコンサルタントとの打合せ会議 | ㈱〇〇コンサル |
|  |  |  |
| 11月１７日 | いちご部会での活動中間報告会 | ＪＡ〇〇 |
| 12月１８日 | 展示会での出荷形態の消費者へのアンケート実施  (いちごパッキング機、いちごパッククーラー使用) | 〇〇メッセ |
| 12月２２日 | マーケティングコンサルを交えた販売戦略検討会 | ＪＡ〇〇 |
| 12月２６日 | 多果多収技術の試験ほ場調査 | 〇〇農園 |
| １月１２日 | 新たな出荷形態での首都圏への試験出荷  (いちごパッキング機、いちごパッククーラー使用) | 〇〇青果市場 |
| ２月５日 | 試験出荷の課題を踏まえた出荷方法の改善  **申請書の「３（４）期待される成果」**について、成果を記載する | 〇〇青果市場 |
| ２月１６日 | 多果多収技術の試験ほ場調査 | 〇〇農園 |
| ３月１日 | マーケティングコンサルの指導による販売戦略構築 | ＪＡ〇〇 |
| ３月５日 | いちご部会での販売戦略報告会  ～した。～行った。～なった。と記載する | ＪＡ〇〇 |

（２）　事業の成果（申請書の「３（４）期待される成果」について箇条書きで具体的に記載）

1. 多果多収技術として、１品種を選定し、栽植密度と施肥技術を確立した。
2. ４つの新たな出荷形態候補から、消費者の意向により1形態を選定した。
3. 首都圏への試験出荷の課題を踏まえ、新たな出荷方法を確立し、来年に本格稼働。
4. 〇〇県の先進的いちご流通技術を踏まえた、低温鮮度保持販売方法を構築した。

　　➄ マーケティングコンサルタントの指導を踏まえた販売戦略構築と報告会を開催した。

　　（３） 残された課題と今後の取組計画（箇条書きで具体的に記載）

　　　①いちご栽培場所が広域のため、今後、低温流通拠点整備の検討が必要となる。

　　　②少量パックの導入に伴う、パッキングセンターのあり方について今後検討を行う。

　　　③今回構築した、販売戦略に基づき、生産者及び関係機関と連携し取り組む。

７　収支決算

　（１）　収入の部

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 区　　　　分 | 決算額（円） | 予算額(円) | 比較増減(円) | 備　　考 |
| 助成金  自己負担金  その他 | ５００，０００  ６５６，５００  区分は支出明細書と同じにする | ５００，０００  ６４６，５００ | ０  １００，０００ | 農業振興基金協会 |
| 計 | １，１５６，５００ | １，１４６，０００ | １００，０００ |  |

・ここではあまり細かく記載せず、支出明細書の概要を記載する

　（２）　支出の部

計は「同額」となる

圭は

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 区　　　　分 | 決算額（円） | 予算額(円) | 比較増減(円) | 備　考 |
| 生産経費  調査研究費  展示会出展費 | １６８，０００  ４４３，０００  １１５，５００ | １６８，０００  ４３３，０００  １１５，５００ | ０  　　　　１０，０００  　　　　　　　 ０ |  |
| 事業実施に伴う収入 | △５０，０００ | △５０，０００ | ０ |  |
| 小計 | ６７６，５００ | ６６６，５００ | １０，０００ |  |
| 固定資産費  (10万円以上のもの) | ４８０，０００ | ４８０，０００ | ０ |  |
| 小計 | ４８０，０００ | ４８０，０００ | ０ | (基金助成  上限30万円) |
| 計 | １，１５６，５００ | １，１４６，５００ | １０，０００ |  |

　　※予算額：事業計画変更承認申請を行った場合は、変更後を記載する。

８　添付書類

1. 決算支出明細書（別紙1）
2. 成果品（事業により作成した成績書、パンフレット、パッケージ等）

　（３）　新聞・広報等の記事、写真4枚以上

　（４）　視察・現地調査報告書（実施した場合のみ）

　（５）　その他活動内容がわかるもの

　（６）　農業振興基金協会・利用者アンケート調査票(別紙２)

（７）　領収書、預金通帳、帳簿の写し

（別紙１）

７(２)支出の部の詳細を細かく記載する

区分は７(２)支出の部と同じにする

記載例

支出明細書

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　　　　分 | 内　　　容 | 単価、数量等 | 金　額（円） |
| 生産経費 | 種苗費  肥料費  農薬費  小農具費(パッキング機)  ほ場賃借料 | 200円／本×250本  2,000円／袋×10袋  3,000円／本×６本  25,000円／機×2機  30,000円／３ａ | ５０，０００  ２０，０００  １８，０００  5０，０００  ３０，０００ |
| **計** |  | **１６８，０００** |
| 調査研究費 | 視察旅費(〇〇県)  マーケティングコンサル謝礼  試作ﾊﾟｯｸ製作委託費  会議費 | 50,000円／人×３人  20,000円／人×５回  193,000円×１式  お茶缶150円×20本 | １５０，０００  １００，０００  １９０，０００  ３，０００ |
| **計** |  | **４４３，０００** |
| 展示会出展費  （アンケート調査） | 出展料  車借上  燃料費  高速代 | 100,000円×１ブース  5,000円／台×１台  150円×30L  静岡～横浜町田 | １００，０００  ５，０００  ４，５００  ６，０００ |
| **計** |  | **１１５，５００** |
| 事業実施に伴う収入 | 試験販売での売上 | 250円×200パック | **△ ５０，０００** |
|  | **小　　計** |  | **６７６，５００** |
| 固定資産費  (10万円以上のもの) | いちごパッククーラー | 480,000円×１台 | **４８０，０００**  (基金助成  上限３0万円) |
| **支　　　　出　　　　合　　　　計** | | | **１，１５６，５００** |

事業実施主体

申請書の５を転記（この様式に合わせ一部改訂して作成する）

（１）　団体又はグループの概要

（２）　事務局

|  |  |
| --- | --- |
| 所在地 | 〒　　　－ |
| 担当者職氏名 |  |
| 担当者の所属部署 |  |
| 連　絡　先 | ＴＥＬ：  携帯： |
| ＦＡＸ： |
| Ｅ-mail： |

　　　　注）　担当者は、問い合わせ等に責任が持てる者とする

７　添付書類　 　【 ※ ７(2)～(5)の事例 】

(2)成果品（事業により作成した成績書、パンフレット、パッケージ等）

　(3)新聞・広報等の記事、写真4枚以上

　(4)視察・現地調査報告書（実施した場合のみ）

　(5)その他活動内容がわかるもの

作成した〇〇パンフレット

〇〇成績書　 年 月 日

　1目　的　　〇〇〇〇〇

2試験内容　〇〇〇〇〇

3試験結果

〇〇新聞　 年 月 日

新たに開発したパッケージ(容器)



　　　 Aタイプ　 　Bタイプ

( 〇円／個)　　( 〇円／個)



〇〇事業の実施状況(活動内容)

 

 

　　　 ＪＡだより　 年 月 日



※**写真は４枚以上**添付する

必須

活動内容がわかる資料

＜任　意＞

※会議資料

※導入した資材・機材のカタログ

※作成した栽培暦

※作成した経営収支試算

※消費者へのアンケート結果 等

視察・現地調査報告書

　　　　　　　　　　　　　年 月 日

1目　的　　〇〇〇〇〇

2場　所　　〇〇県〇〇市、　(株)〇〇農園

3参加者　　〇〇〇〇、〇〇〇〇

4現地調査内容

　(1) 〇〇〇〇〇

　(2) 〇〇〇〇〇

5 成果　　〇〇〇〇〇

【提出必須】　領収書、預金通帳、帳簿 の写し

＜関係書類は３年間保存のこと＞

**預金帳簿**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 月日 | 摘　要 | 借方 | 貸方 | 備考 |
| 4.6 | 自己資金預入 | 700,000 |  |  |
| 4.13 | 試験用種苗費 |  | 31,000 |  |
| 6.12 | 試験用農薬 |  | 24,000 |  |
| 9.13 | 基金協会助成金 | 500,000 |  |  |
| 10.30 | いちご包装資材代 |  | 53,750 |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

領収書

領収書

領収書

領収書

　　　　　　〇年10月30日

金　53,750円

　　　　 但し:包装資材代

いちご研究会様

　店舗1234-567 口座0012345

〇〇いちご研究会 様

**預 金 通 帳**

**ＪＡバンク**

年月日　摘　要　　お支払金額　お預り金額　差引残高

〇.4.6　 自己資金 　　　　　　　700,000　　700,000

〇.4.13　いちご苗代 31,000　　　　　　　 669,000

〇.6.12　農薬代　　 24,000 645,000

〇.6.12　基金協会助成金　 　　500,000 1,145,000

〇.10.30 包装資材代　53,750　　　　　　　 1,091250

〇〇〇　ﾋﾞﾆｰﾙ　 　　〇〇〇　　　〇〇〇　　　〇〇〇

〇〇〇　お茶缶　　　〇〇〇　　　〇〇〇　　　〇〇〇

〇〇〇　インク　　　〇〇〇　　　〇〇〇　　　〇〇〇

〇〇〇　支柱資材　　〇〇〇　　　〇〇〇　　　〇〇〇

通帳に他の入出金がある場合は、分かりやすく該当するものにマーカー表示などを行う

(別紙２)

記載例

農業振興基金協会・利用者アンケート

〇を付ける

代表者又は

事務局担当者名

団体名：　〇〇〇〇いちご研究会

担当者名：　 〇〇〇〇

|  |  |
| --- | --- |
| № | 質問事項と回答　※該当する箇所に○印を付けてください。 |
| Ⅰ | 基助成事業の募集を何で知りましたか。（複数回答可）  １　指導機関からの紹介  ア ＪＡ　 イ 県・農林事務所　 　ウ 市町　　 エ その他（　　　　　　　　　　　　）  ２　基金協会からの情報  　　ア　「事業のあらまし」冊子　　イ　リーフレット「募集案内」　　　ウ ホームページ  　　エ　事業説明会  ３　広　報  ア　新聞記事　 イ　ＪＡ広報誌　 ウ 市町広報誌　 エ その他（　　　　　　　　　）  ４　その他 （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| Ⅱ | 助成金の申請理由は何ですか。  １　助成金を活用することで事業規模や内容を充実するため  ２　自己負担を軽減し、事業を進めやすくするため  ３　資金不足で実施できなかった事業に着手するため  ４　助成措置があることを知って事業を計画した  ５　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| Ⅲ | 助成金は事業を進める上で、役立ちましたか。  １　大いに役立った  ２　やや役立った  ３　ふつう  ４　あまり役立なかった  ５　全く役立なかった |
| Ⅳ | 助成事業について、改善・要望事項があれば、御記入ください。  ・  ・ |
| Ⅴ | 基金協会に対するする意見・要望があれば、御記入ください。  ・  ・ |

**◆ 農業振興基金協会事業の問合せ先**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 機　関　名 | | 住　　　所 | 電　話　番　号 |
| 静岡県農業振興基金協会 | | 422-8619　 静岡市駿河区曲金３-８-１  kikin@chu.ja-shizuoka.or.jp | 054-284－9545 |
| 農業団体 | 各農業協同組合  営農指導担当課 | 各農業協同組合 | 各農業協同組合 |
| 農協中央会  中東部支所 | 422-8619　 静岡市駿河区曲金３-８-１  Ｅ-mail：chubu@chu.ja-shizuoka.or.jp | 054-284-9632 |
| 農協中央会  西部支所 | 438-0078　 磐田市中泉９７１の６  Ｅ-mail：seibu@chu.ja-shizuoka.or.jp | 0538-32-8281 |
| 政機関 | 賀茂農林事務所  企画経営課 | 415-0016　 下田市中５３１の１  Ｅ-mail：kamonou-kikaku@pref.shizuoka.lg.jp | 0558-24-2076 |
| 東部農林事務所  企画経営課 | 410-0055　 沼津市高島本町１の３  Ｅ-mail：tounou-kikaku@pref.shizuoka.lg.jp | 055-920-2157 |
| 富士農林事務所  企画経営課 | 416-0906　　富士市本市場４４１の１  Ｅ-mail：fuji-kikaku@pref.shizuoka.lg.jp | 0545-65-2195 |
| 中部農林事務所  企画経営課 | 422-8031 静岡市駿河区有明町2の20  Ｅ-mail：ＡFO-chubu-kikaku@pref.shizuoka.lg.jp | 054-286-9276 |
| 志太榛原農林事務所  企画経営課 | 426-0075　 藤枝市瀬戸新屋３６２の1  Ｅ-mail：AFO-shidahai-kikaku@pref.shizuoka.lg.jp | 054-644-9212 |
| 中遠農林事務所  企画経営課 | 438-8558　　磐田市見付３５９９の４  Ｅ-mail： nourin-chuen-kikaku@pref.shizuoka.lg.jp | 0538-37-2268 |
| 西部農林事務所  企画経営課 | 430-0929　 浜松市中区中央１－12－１  Ｅ-mail：seinou\_kikaku@pref.shizuoka.lg.jp | 053-458-7208 |
| 各市町  農業担当課 | 各　　　　　　市　　　　　　町 | 各　市　町 |

**【　事 務 局　】**

**公益社団法人 静岡県農業振興基金協会**

　　　　〒422-8619　　静岡市駿河区曲金三丁目８番１号 (農業会館４階 ＪＡ静岡中央会内)

　　　　　　電　話　:　054-284－9545 　　（ＪＡグループ内通話：アクセスコード＋004-4410）

　　　　　　ＦＡＸ　 ：　054-284-6001

[Ｅ-mail：　kikin@chu.ja-shizuoka.or.jp](mailto:　　　　　　Ｅ-mail：　kikin@chu.ja-shizuoka.or.jp)

　 ホームページ： <http://group.ja-shizuoka.or.jp/kikin>

**（ 農業振興基金協会 ↵ ）**